

a.主な機能

- ・マルチマテリアル機能…最大 6 種類までの材料を同時に使用可能。硬質材料と透明材料やラバーライク材料を同時に使うことができ、より多様な質感や色彩表現を実現。ほか、デジタル ABS 材料の使用も可能(白・グリーン)。
※当センターでは基本的にフルカラープリントでの運用のため、ラバーライクやデジタル ABS 材料でのプリントは通常行っておりません。ご希望の場合はお問い合わせ下さい。
- ・フルカラー3D プリント…硬質カラー材料のシアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・ホワイトの混合材料により 36 万色以上の鮮やかなカラーを再現できます。
※指定したカラーと実際の造形物で色が多少相違する場合がございます。
- ・テクスチャマッピング機能…表面にテクスチャを与えたデータで造形することができるテクスチャマッピングによって豊富な表現が可能。
- ・高精細造形…積層ピッチは 14 μm もしくは 27 μm で積層厚が細かく、なめらかな仕上がりが
(通常、指定の無い場合は 27 μm で造形を行いません)
- ・対応ファイル…STL、STEP、Parasolid、IGES、VRML など

b.仕様

- ・最大造形サイズ(mm)…490(W)×390(D)×200(H)
- ・造形材料 VeroClear(硬質/透明)、VeroWhitePlus(硬質/白)、VeroGray(硬質/グレイ)
VeroBlue(硬質/青)、VeroBlackPlus(硬質/黒)、VeroCyan(硬質/シアン)
VeroMagenta(硬質/マゼンダ)、VeroYellow(硬質/イエロー)
TangoPlus(ラバーライク/半透明/shore27)、TangoBlackPlus(ラバーライク/黒/shore27)、
デジタル ABS(ABS ライク/白・グリーン)
- ・サポート材料…FullCure705 Support
- ・積層ピッチ(mm)…HQ モード:0.014、HS モード:0.027、HM モード:0.027
- ・筐体サイズ(mm)…本体:1400(W)×1100(D)×1260(H)、マテリアルキャビネット:670(W)×640(D)×1170(H)
- ・重量…本体:430kg、マテリアルキャビネット:152kg

c.用途の例

業種	用途
自動車、半導体、産業用機械関連	試作モデル、シボ等複雑形状樹脂部品、組み立てサンプル、部品サンプル、少量部品
医薬・医療機器・学術関連	人体・臓器モデル、義手・義足・補助具、義歯・補助具、文化財復元など
その他	フィギュア、ミニチュアモデル、メガネフレーム、住宅モデル、立体模型、など

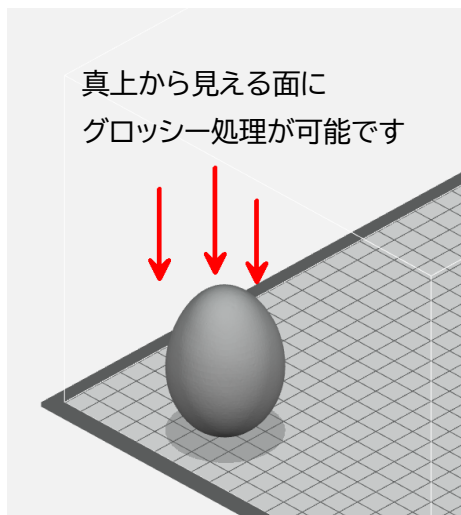
造形物の表面仕上がりについて

3D プリンタ J750 では、造形物の表面仕上がりを、①グロッキー(光沢) ②マット の2種類のタイプから選択できます。

グロッキーはトレイに対して真上から見た面のみを光沢仕上げとすることが出来ます。アンダーとなる部分はすべてサポート材がつきます。よって、造形物は光沢面とサポート材の付いた面が混在してしまいます。また、サポート材の使用量が抑えられてマットより低価格で造形が可能です。

一方、マットは全体をサポート材で覆うもので、利点としては造形物全体が均一の状態になることが挙げられます。サポート材を多く使用するため、その材料費はグロッキーに比べると多くなります。

造形を依頼される場合は、グロッキーの有無をご連絡ください。またグロッキー有りの場合、グロッキーをかける面をご指定下さい。グロッキーをかけることができる面は、造形トレイの面に対し、真上から見た場合に目視できる面に限られますのでご注意ください。



造形物のサポート材除去について

造形物のサポート材はついたままでお渡しとなります。お客様ご自身で除去をお願い致します。サポート材は非常にもろい素材ですので手作業で除去が可能です。水道水に短時間浸すとさらにもろくなり、除去しやすくなります。